2017年3月期 決算説明会

2017年5月18日

株式会社SRAホールディングス 代表取締役社長 鹿島 亨



2017年3月期 総括

2018年3月期 計画

今後の取り組み



2017年3月期 総括



業績/前年比

• 売上:横ばい

収益: 粗利益、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてが 増益

〔過去最高〕営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益 粗利益率(21.0%)、営業利益率(10.7%)、経常利益率(10.8%)

	2017年3月期 実績	2016年3月期 実績	差異(増減率)
売上高	39,142	39,155	△13(△0.03%)
粗利益 粗利益率	8,213 21.0%	7,517 19.2%	696 (9.3%) 1.8%
営業利益 営業利益率	4,180 10.7%	3,736 9.5%	443 (11.9%) 1.1%
経常利益 経常利益率	4,211 10.8%	3,850 9.8%	360 (9.4%) 0.9%
当期純利益	2,646	463	2,183
1株当たり当期純利益	218.00円	38.40円	_



• 売上高は業績予想を2.1%下回ったものの

営業利益 +6.1% 業績予想を上回る 経常利益 +2.1%

	2017年3月期		
	実 績	業績予想 (2016年5月発表)	差異(増減率)
売上高	39,142	40,000	△857(△2.1%)
営業利益	4,180	3,940	239 (6.1%)
経常利益	4,211	4,125	85(2.1%)
当期純利益	2,646	2,667	△20(△0.8%)
1株当たり 当期純利益	218.00円	219.93円	



売上高/セグメント別(前年比)

運用・構築事業が大幅に増加

- 開発事業 = △0.9%
- 運用・構築事業 = 10.7%増
- 販売事業 = △1.7%

	2017年3月期 実績	2016年3月期 実績	差異(増減率)
開発事業	20,710	20,901	△190(△0.9%)
運用・構築事業	4,403	3,978	425 (10.7%)
販売事業	14,027	14,275	△247 (△ 1.7%)
合計	39,142	39,155	△13(△0.03%)



売上高/セグメント別(開発事業、運用・構築事業)

〔開発事業〕

前年比〔横ばい(△0.9%)〕

- ・一部の製造業が増加
- ・銀行、証券は減少

〔運用・構築事業〕

前年比〔增加(10.7%)〕

- ・企業向けが増加
- ・大学向けは横ばい



売上高/顧客業種別

単位:百万円

	開発事業		運用・	構築事業
	2017年3月期実績	2016年3月期実績	2017年3月期実績	2016年3月期実績
製造業	7,997	6,854	657	304
通信	545	570	681	688
電力・ガス	1,137	1,182	3	3
銀行・証券	5,386	6,321	1,002	977
生損保	377	346	269	214
流通	1,012	1,122	0	7
大学等	1,023	1,105	799	824
ハードメーカー	437	477	736	411
情報サービス	648	657	42	357
サービス他	2,144	2,263	211	189
合 計	20,710	20,901	4,403	3,978



※運用・構築事業/ハードメーカーと情報サービスの増減要因:顧客企業の吸収合併による計上業種の変更

売上高分析

〔販売事業〕

前年比〔減少(△1.7%)〕

AIT:機器販売が減少

SRA: 自社IP製品を中心に増加

自社IP製品ビジネスの拡大

により増加

(粗利益率も大きく向上)

AIT 販売事業 売上高

単位:百万円

2017年3月期 実績	2016年3月期 実績	差 異
10,347	10,865	△518 (△4.8%)

SRA 販売事業 売上高

2017 年 3月期 実績	2016年3月期 実績	差 異 /
1,860	1,702	157 (9.3%)



収益分析 (前年比)

すべての指標で増益

• 粗利益 9.3%增

• 営業利益 11.9%増

経常利益 9.4%增

〔増益要因〕

・利益率向上による粗利益の増加

• 当期純利益 2,183百万円増

〔増益要因〕

- ・利益率向上による粗利益の増加
- ・前年は特別損失(1,973百万円)を計上



参考:キャッシュ・フロー

単位:百万円

	2017年3月期	2016年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,900	3,493
キャッシュ・フローマージン	10.0%	8.9%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,636	△2,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△772	△616
現金及び現金同等物の増減額	△2,567	8
現金及び現金同等物の期末残高	6,265	8,833

<主な要因>

● 営業活動によるキャッシュ・フロー プラス要因:税金等調整前当期純利益4,188百万円、その他負債の増加1,702百万円等 マイナス要因:法人税等の支払額1,443百万円、売上債権の増加549百万円等

投資活動によるキャッシュ・フロー

プラス要因:貸付金の回収473百万円等

マイナス要因:関係会社株式取得3,705百万円、無形固定資産取得618百万円、貸付1,782百万円等

財務活動によるキャッシュ・フロー

プラス要因:ストックオプション行使134百万円

マイナス要因: 配当金の支払909百万円等



参考:グループ会社実績

		2017年3月期	2016年3月期
AIT	売上高	11,903	12,643
A 1 1	経常利益	980	930
ソフトウエア・	売上高	2,512	2,429
サイエンス	経常利益	323	265
SRA西日本	売上高	1,227	1,218
3 NA四日本	経常利益	165	155
S R A東北	売上高	1,268	1,189
3 K A X 4 U	経常利益	130	91
SRAアメリカ	売上高	1,558	1,778
SRAヨーロッパ	経常利益	182	95
SRA OSS	売上高	1,993	1,784
3 KA 033	経常利益	△188	58
その他の会社	売上高	1,209	1,229
	経常利益	73	9
グループ会社合計	売上高	21,673	22,274
	経常利益	1,666	1,604



参考: (株) SRA単体業績

売上高: 3.2%增

収 益:粗利益、営業利益が増益

単位:百万円

	2017年3月期 実績	2016年3月期 実績
売上高	19,142	18,541
粗利益	4,586	4,085
営業利益	2,542	2,262
経常利益	2,741	2,298
当期純利益	1,869	72

粗利益率 24.0%: 過去最高

営業利益率13.3%: 過去最高



2018年3月期 計画



2018年3月期 計画

	2018年3月期 計画	2017年3月期 実績	差異
売上高	40,500	39,142	1,357
粗利益	8,505	8,213	291
粗利益率	21.0%	21.0%	0.0%
販売管理費	4,350	4,033	316
販管費率	10.7%	10.3%	0.4%
営業利益	4,155	4,180	△25
営業利益率	10.3%	10.7%	△0.4%
経常利益	4,155	4,211	△56
親会社株主に帰属する当期純利益	2,611	2,646	△35
1株当たり当期純利益	213.95円	218.00円	△4.05円
1株当たり配当金	110円	90円	20円



セグメント別 売上高

	2018年3月期計 画	2017年3月期 実績	差 異
開発事業	21,600	20,710	889
運用・構築事業	4,700	4,403	296
販売事業	14,200	14,027	172
合 計	40,500	39,142	1,357



主要グループ会社別 売上高

単位:百万円

	2018年3月期 計 画	2017年3月期 実績	差 異
(株)SRA	19,200	19,142	57
(株)AIT	12,200	11,903	296
国内子会社	5,100	5,007	92
海外子会社	4,300	3,810	489

※連結相殺前の数値



株主還元の充実

■ 1株当たり 配当金

·2016年3月期: 70円 15円増配

中間配当金:25円+期末配当金:45円

配当利回り: 2.7%

・2017年3月期: **90円 20円増配・配当性向 41.3%**

(普通配当85円+特別配当5円)

中間配当金:30円+期末配当金:60円(特別配当5円を含む)

配当利回り: 3.1%

· 2018年3月期: 110円 (計画) 20円増配·配当性向 51.4%

(普通配当100円+創業50周年記念配当10円)

中間配当金:40円+期末配当金:70円(記念配当10円を含む)

配当利回り: 2.5%を確保したい

- 連結 ROE 10%以上を安定的・持続的に確保
 - ・2018年3月期:**12.8%** (予想)



今後の取り組み



粗利益の確保/粗利益率の向上

2016年度「粗利益率」実績 連結 **21.0%**(対前年+1.8%) SRA単体 **24.0%**(対前年+1.9%)

- 「自社IP製品ビジネス×海外ビジネス」の推進
- 案件を創出→効率的かつ確実に受注 「自社IP製品」販売 ⇔ 開発、運用・構築を受注
- 技術優位性/強みを活かしたビジネス展開 組込開発、モバイルビジネス
- "Only one" サービスの提供

「Qt」トータルサービス、OSSサポートサービス ⇒ 高収益



販管費の効率化/販管費率の改善

- 施策の徹底、営業効率の向上による販売費の削減
- シェアードサービス(SRAプロフェッショナルサービス) 及び グループ各社スタッフ部門の 業務効率化、スキルアップによる一般管理費の削減



2018年3月期 計画

	2018年3月期 計画	2017年3月期 実績	差異
売上高	40,500	39,142	1,357
粗利益	8,505	8,213	291
粗利益率	21.0%	21.0%	0.0%
販売管理費	4,350	4,033	316
販管費率	10.7%	10.3%	0.4%
営業利益	4,155	4,180	△25
営業利益率	10.3%	10.7%	△0.4%
経常利益	4,155	4,211	△56
親会社株主に帰属する当期純利益	2,611	2,646	△35
1株当たり当期純利益	213.95円	218.00円	△4.05円
1株当たり配当金	110円	90円	20円



「技術のSRA」として 次の50年を創る



<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的とした ものであり、 売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や 予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になる ことがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、 ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、 当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

